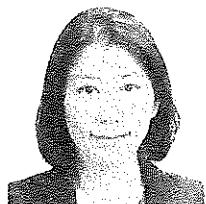


点から、長年教育関係者が要望をあげていたが、新型コロナウイルス感染防止対策としても喫緊の課題であると考へる。文科省が示した教室での座席配置の間隔は2m（最低でも1m）だが、その基準を保てていないうクラスはあるのか。

小・中学校の少子化の早期の実現を



答 消毒などによる業務が増えて、いるが、深谷市教育委員会では、スクールサポート・スタッフを配置し、教員の業務負担軽減に努めている。

問 県のガイドラインを見ると、子供の心のケアや休み時間の配慮等々、教員の業務は多岐にわたる。子供を新型コロナウイルス感染から守りながら、健やかに学びを保障するために少人数学級を早期に実現すべきだと思うが市の見解は。

会に少人数学級の早期の実現を要望しているところである。

問 埼玉県内で独自に少人数学級を実現している自治体はいくつあるか。

答 9市町ある。

におかれでは、（1）少人数編成を可能とする教員の確保（2）ＩＣＴスクールサポーター等の配置充実（3）更新費用やランニングコスト等も含めたＩＣＴ環境整備に必要な財政措置の拡充など、学習環境の整備を早急に図ることを強く要望する。

令和2年7月2日

日本共産党 深谷市議団 議会報告 №36 (9月議会)

問 深谷市では、すでにインフルエンザワクチンの接種費用の一部を補助する国の定期接種の制度がある。

冬場になるとインフルエンザが流行するが、新型コロナ感染症と同時流行を防ぐために、すでにあるインフルエンザワクチン接種費用を助成し、高齢者と子どもたちに普及する必要があるが、市の考えはどうか。

答 予防接種法に基づき65才以上の方や60才から64才でも心臓病などの持病のある方は、自己負担1000円でワクチンの接種

エンザ予防接種補助制度 埼玉県は、新型コロナ感染症とインフルエンザの同時流行による医療現場の負担軽減を目的に、重症化リスクの高い高齢者に対しインフルエンザワクチン接種費用の自己負担分を無償にして、ワクチン接種を促す制度を創設した。10月から12月の接種分まで補助対象とする。深谷市は、1月分を市で負担し、10月から来年1月まで無償により、高齢者へインフルエンザワクチン接種補助を実施する。

答　県は、クラスターの発生を防止し感染拡大を防ぐため県の基準で検査対象者の拡大を図ることとし、感染リスクの高い集団において複数の感染者が確認されたある。

小中学校の手洗い場の水道蛇口を自動水栓にするの

集団やボリスカ高い施設で働く職員に唾液によるPCR検査を無料で実施を

場合に、無症状の方も検査を受けられることにした。

④ この議会報告は政務活動費を使用しています。ご意見・ご要望は党議員団まで

鈴木三男 090-8332-5591 佐久間奈々 090-5582-8020 までお寄せください。③